

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成17年12月2日(2005.12.2)

【公表番号】特表2001-523294(P2001-523294A)

【公表日】平成13年11月20日(2001.11.20)

【出願番号】特願平10-547932

【国際特許分類第7版】

C 0 9 J 121/00

B 3 2 B 25/04

C 0 8 L 21/00

C 0 8 L 23/10

C 0 8 L 53/00

C 0 8 L 77/00

C 0 9 J 123/10

C 0 9 J 153/00

C 0 9 J 177/00

【F I】

C 0 9 J 121/00

B 3 2 B 25/04

C 0 8 L 21/00

C 0 8 L 23/10

C 0 8 L 53/00

C 0 8 L 77/00

C 0 9 J 123/10

C 0 9 J 153/00

C 0 9 J 177/00

【手続補正書】

【提出日】平成17年4月27日(2005.4.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成17年4月27日

特許庁長官 小川 洋 殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第547932号

PCT/NL98/00232

2. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

住所 オランダ国, 6411 テーイー ヘーレン,
ヘット オーバールーン 1

名称 ディーエスエム エヌ. ブイ.

3. 代理人

〒105-0003

住所 東京都港区西新橋2-19-2. 西新橋YSビル3階

電話 03 (5401) 2521

氏名 (8554) 弁理士 松井 光夫



4. 補正により増加する請求項の数 なし

5. 補正対象書類名 特許法第184条の5第1項の規定による書面

6. 補正対象項目名 (1) 特許請求の範囲

(2) 明細書

7. 補正の内容

(1) 特許請求の範囲を別紙の通り訂正する。

(2) 明細書第6頁第5行と第6行との間に以下を挿入する。

「すなわち、本発明は、熱可塑性ポリオレフィン樹脂とゴムとのブレンド (TPOE)、又は熱可塑性エラストマー状のスチレンに基づくブロックコポリマー (STPE) を含む接着性熱可塑性エラストマー組成物において、組成物が、官能化されたゴムとポリアミドの反応生成物の形の2～60重量%の接着プロモーターをも含むことを特徴とする接着性熱可塑性エラストマー組成物である。」

(3) 明細書第6頁第6～10行の「図面の簡単な説明・・・サンプルを示す。」を削除する。



請求の範囲

1. 熱可塑性ポリオレフィン樹脂とゴムとのブレンド (TPOE)、又は熱可塑性エラストマー状のスチレンに基づくブロックコポリマー (STPE) を含む接着性熱可塑性エラストマー組成物において、組成物が、官能化されたゴムとポリアミドの反応生成物の形の2～60重量%の接着プロモーターをも含むことを特徴とする接着性熱可塑性エラストマー組成物。
2. 官能化されたゴムにおけるゴムが、スチレンに基づくブロックコポリマー、EAM、およびEADMゴムより成る群から選ばれる、請求項1記載の接着性熱可塑性エラストマー組成物。
3. スチレンに基づくブロックコポリマーが、スチレン-ブタジエン-スチレンブロックコポリマー、またはスチレン-エチレン-ブチレン-スチレンブロックコポリマーである、請求項1または2記載の接着性熱可塑性エラストマー組成物。
4. 官能化されたゴムにおける官能基が無水物基である、請求項1記載の接着性熱可塑性エラストマー組成物。
5. 官能化されたゴムにおける官能基の量が、0.2～12重量%の範囲にある、請求項1～4の何れか一つに記載の接着性熱可塑性エラストマー組成物。
6. 接着プロモーターにおけるポリアミドの量が、10～90重量%の範囲にある、請求項1～5の何れか一つに記載の接着性熱可塑性エラストマー組成物。
7. TPOEにおけるゴムが、EPR、EPDM、NBR、SBR、及びブチルゴムよりなる群から選ばれる、請求項1～6の何れか一つに記載の接着性熱可塑性エラストマー組成物。
8. TPOEにおけるゴムが、抽出し得るゴムの量が15%以下である程度に加硫されている、請求項1～7の何れか一つに記載の接着性熱可塑性エラストマー組成物。
9. TPOEにおけるゴムが、抽出し得るゴムの量が5%以下である程度に加硫されている、請求項8に記載の接着性熱可塑性エラストマー組成物。
10. TPOEにおける熱可塑性樹脂が、ポリプロピレンホモまたはコポリマーである、請求項1～9の何れか一つに記載の接着性熱可塑性エラストマー組成物。
11. 接着プロモーターにおけるポリアミドが、ナイロン4.6、ナイロン6、ナイロン6.6、及びナイロン12からなる群から選ばれる、請求項1～10の何れか一つに記載の接着性熱可塑性エラストマー組成物。
12. 接着プロモーターにおけるポリアミドが、15,000～40,000の範囲の数平均分子量を有する、請求項1～11の何れか一つに記載の接着性熱可塑性エラストマー組成物。
13. 組成物中の接着プロモーターの量が10～30重量%の範囲である、請求項1に記載の接着性熱可塑性エラストマー組成物。
14. 官能化されたゴムとポリアミドが、ポリアミドの融点より上の温度で互いに反応され、その後に、得られた生成物が、TPOEおよびSTPEよりなる群から選ばれる熱可塑性エラストマーと溶融混合又はドライブレンドされる、請求項1～13の何れか一つに

記載の組成物を製造する方法。

1 5．基体および接着性組成物を組み合わせて含む物品の製造方法において、請求項 1 ～ 1 3 の何れか一つに記載の組成物が融点より上の温度に加熱され、その後に組成物が該基体と組み合わされることを特徴とする方法。

1 6．組成物が 250°C 以上の温度で加工される、請求項 1 5 に記載の方法。

1 7．基体、および請求項 1 ～ 1 3 の何れか一つに記載の組成物あるいは請求項 1 5 ～ 1 6 の何れか一つに従い製造された該組成物を組み合わせて含む物品。

1 8．基体がナイロンを含む、請求項 1 7 記載の物品。

1 9．物品がガラスランチャネルの形である、請求項 1 7 ～ 1 8 の何れか一つに記載の物品。